

このページでは、避難生活での疑問や、除染・補償・賠償に対する質問にお答えします

ご協力ありがとうございました
9月19日 相馬大野台応急仮設住宅
でお聞きしました



高野光子さん(関沢)

(質問) 家族が3つに分かれてしまっています。早く除染をしてもらい、皆で一緒に帰りたいです。

(回答) 除染作業がなかなか進まないことをお詫び申し上げます。

現在の除染作業の状況は、二枚橋・須萱、臼石、大久保・外内の3行政区で作業が進められ、前田・八和木、関根・松塚の2行政区では、除染実施前の事前モニタリングが行われております。

その他の行政区については、今号に載せてあります「国による除染工程の見直し」(P19)の通り、宅地及び宅地周辺の除染を平成26年度末までに完了させ、農地については平成27年度以降に行うと、国から発表がありました。

平成26年4月から関沢行政区を含めた未実施行政区の除染が開始されるよう、現在、除染同意取得と居根伐採契約を進めておりますので、ご協力とご理解をお願いいたします。



西川ケサヨさん(宮内)

(質問) 家族で帰村することが難しくなっていると思っています。それでも村に残してきた家に帰りたいという思いが残ります。

(回答) 村は、年間被ばく線量が20ミリシーベルトを超える地域として全村が避難区域に指定されました。村に戻るための条件として放射性物質の除染が必須となるわけですが、村は国が直轄で除染する区域とされており、徹底かつすみやかな除染を国に対して要望してきたところです。しかしながら、上の回答にもある通り、このほど示された国除染計画の見直しで、当初の計画は大幅に遅れることが明らかとなってきました。こうした中、長引く避難先での不自由な生活やストレスから、住み慣れた村に戻りたいとする方も多くなっております。

村は除染すれば戻れる区域にありますので、まずは徹底した除染を早期に行うよう、引き続き国に訴えてまいります。また、夜間の宿泊はできないわけですが、見守りや留守中の家が傷まないように管理したりできるよう、一時帰宅バスも定期的に運行しておりますので、ご利用いただければと思います。除染が思うように進まない中、帰村時期も延期せざるをえないわけですが、除染の進捗状況を踏まえ村民のみなさんや議会の意見をお聞きしながら早期帰還に取り組んでまいります。

村職員人事異動のお知らせ

10月1日付で職員の人事異動が行われましたので、皆さんにお知らせします。※()は旧任

▽総務課企画係主査
佐藤 こそずえ
(生活支援対策課商工労政係主査)

●このお話には類話があります。「蟹の禪」は前掛けとも呼ばれるカニの腹部の三角形の部分です。



蟹の禪

昔、南山の馬鹿婿は、舅さ初めで御年始さ行く時、家が「あそこさ行くぞ、蟹取れつ所だから、よく蟹お膳さ出すが、ほん時は禪はずして食ねっかなんねがんな」って教らっちゃそう。

「はい」どって、嫁様と二人じえ御年始さ行ったら、何のほのうぢ、蟹出さっちゃんだそう。ハア、なる程、家のお父つあんどお母さんに禪はずして食えつて言っちゃっけ」って、立膝なつて、真黒い禪はずしてお膳の隅さ置いて、蟹食ってだった。

ほごの家では、「こういう馬鹿な奴では、娘なんつくちえやらにえがら、明日は一人じえ帰れ」つ事になった。さんは馬鹿な奴でねえんだ。家の方では、蟹出さつちや時は、こういぐして食うんだがら」って言ったんだ。ほしたら、舅様は「ほうが、ほんでは俺の考え違えだつたが」って言った。んだがら、嫁様ど帰らえつこどん

なつて、一緒に帰さつちやんだそう。

「話者/故・高野直喜さん(大倉) いたて民話の会発行「語って聞かせっかい」から抜粋」

誕生おめでとう

赤ちゃんの名まえ	親の氏名	行政区
佐藤 玲奈ちゃん	一浩・なつみ	前田
赤石澤 心愛ちゃん	智・亜紗美	飯樋町
佐藤 大和くん	豊洋・直子	飯樋町
鈴木 愛蓮くん	大智・春華	深谷

すくすくと元気に育ってね



結婚おめでとう

氏名	行政区
佐藤 真吾 枝穂美	二枚橋・須萱 福島市
齋藤 亮太 友紀	飯樋町 大倉
今井 一起 彩	福島市 深谷

いつまでもお幸せに



おくやみ

氏名	年齢	行政区
菅野 春信	83	長泥
八巻 昇	82	草野
多田 徳子	92	宮内
庄司 キヨ子	83	関沢

ご冥福をお祈り申し上げます

(8月21日から9月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

(平成25年9月1日現在)

人口	今月(前月比)	去年同期
男	2924 (-1)	2941
女	3011 (-1)	3005
計	5935 (-2)	5946
世帯数	1657 (-4)	1691

8月1日~31日までの
◆◆人口動態◆◆

転入	6人
転出	3人
出生	3人
死亡	8人

(平成22年国勢調査に基づき増減された現住人口)

編集後記

一日一日涼しく、過ごしやすい気温に。山の本々もところどころ色付いてきていますね。避難先で散歩していると、懐かしい匂いが。稲刈りが進んでいたようで、刈り取ったばかりの稲の匂い。収穫の秋ですね。自然・山々の恵みいっぱい村の秋を早く取り戻したいと切に願っています。▼広報担当1年半。たくさんの方にお世話になりました。村の話をお届けしてきました。私事でありますが、この度、産休をいただくことになりました(紙面をお借りし、すみません)が、広報はこれまで以上、皆さんに村の情報を届けたいです。今後とも広報したいです。よろしくお願いします。(羽田)